

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11077	3	前期	選択	1	30
授業科目名 (英文)	解剖生理学演習 (Seminar in Anatomy and Physiology)				
担当教員名	高野 海哉				
授業の概要及び到達目標					
<p>概要</p> <p>1年次で履修した必修科目である「体の仕組みと働きⅠ・Ⅱ」よりも高度な内容を学ぶ。          [解剖学的演習] 人体解剖見学を通して解剖学的な観察と考察を行い、人体構造に関してさらに深い内容を学ぶ。[生理学的演習] バイタルサイン測定やphysical examinationを通して生理学的な測定や観察と考察を行い、さらに深い生理学的な内容を学ぶ。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 献体制度を知り、感謝の念を持って解剖見学に参加することができる。</li> <li>2. 解剖見学で得られた所見をスケッチ・レポートにまとめ、プレゼンテーションすることができる。</li> <li>3. 生理学的な演習を、正確なデータが得られるように実施することができる。</li> <li>4. 生理学的演習で得られた結果を、論理的に考察することができる。</li> <li>5. 解剖学および生理学的演習で得た経験や知識を各看護領域の知識や技術に関連させることができる。</li> </ol>					
準備学習等					
<p>受講する準備（予習）：30分</p> <p>あらかじめ配布されるレジュメで演習内容を確認する。また、1年生で履修した「体の仕組みと働きⅠ・Ⅱ」の内容を十分に復習し、次回演習内容および目的を理解する。</p> <p>受講（演習）</p> <p>演習には積極的・意欲的に取り組むこと。</p> <p>受講後の復習：60分以上</p> <p>演習内容に沿って受講者各自でレポートを作成する。レポート作成に必要な解剖生理学的知識は、各自で参考文献にあたって調べ、検討するなど、自主的、意欲的に取り組みこと。</p>					
成績評価の方法	レポート：100%				
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目で配布するレジュメ</li> <li>・1年生で履修した「体の仕組みと働きⅠ・Ⅱ」の講義テキスト</li> <li>・(基本を学ぶ看護シリーズ) 2. からだの仕組みと働きを知る (高野海哉・川岸久太郎・草間朋子 著：東京化学同人)</li> </ul>				
参考図書	<p>「アトラス解剖学：人体の構造と機能（第2版）」(E. リューティエン-ドレコール, J.W. ローエン著/井上貴央, 海藤俊行, 牛木辰男訳：西村書店) ※</p> <p>「解剖学カラーアトラス第6版」(Johannes W. Rohen, 横地千仞, Elke Lütjen-Drecoll 共著：医学書院) ※</p> <p>「ネッター解剖生理学アトラス」(John T. Hansen, Bruce M. Koeppen 著/相磯貞和, 渡辺修一訳：南江堂) ※</p> <p>「解剖学講義（改訂2版）」(伊藤隆著：南山堂) ※</p>				

備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目は1年次科目「体の仕組みと働きⅠ・Ⅱ」の補講的な内容ではない。</li> <li>・本科目は選択科目であり、必修科目として設定されている解剖生理学的な知識よりもさらに内容を深める科目である。</li> <li>・欠席した場合の補習は行わない。欠席しないこと。特に解剖見学に関しては、事前学習・事前説明の出席が参加必須条件である。</li> <li>・オフィスアワーについては、履修案内「オフィスアワー」の項目を参照のこと。</li> <li>・メール (<a href="mailto:k-takano@thcu.ac.jp">k-takano@thcu.ac.jp</a>) でいつでも質問などに対応する。</li> <li>・提出されたレポートは添削後返却する。内容が不十分な場合は、修正したうえで再提出を求める場合がある。</li> <li>・筆記試験は行わない。したがって、追試験・再試験も行わない。</li> <li>・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示されている各学科の履修系統図をご確認ください。</li> </ul>
授 業 計 画	
<p>解剖学的演習</p> <p>第1回 解剖見学に向けた予備学習と事前学習① 人体構造の特徴 各器官の特徴 (系統解剖学)</p> <p>第2回 解剖見学に向けた予備学習と事前学習② 人体解剖学とは 献体制度とは</p> <p>第3回 } 第4回 } 人体解剖学 見学実習 (1回目)</p> <p>第5回 解剖見学 (1回目) のまとめ (レポート (観察報告書)) のプレゼンテーション・提出</p> <p>第6回 2回目の見学に向けた予備学習</p> <p>第7回 } 第8回 } 人体解剖学 見学実習 (2回目)</p> <p>第9回 解剖見学 (2回目) のまとめ (レポート (観察報告書)) のプレゼンテーション・提出</p> <p>第10回 解剖見学に関するまとめ</p> <p>生理学的演習</p> <p>第11回 } 第12回 } バイタルサインに関する演習 (循環器系と呼吸器系の連関) レポート提出: 演習終了後、翌週月曜日午前9時</p> <p>第13回 } 第14回 } 消化器系に関する演習 レポート提出: 演習終了後、翌週月曜日午前9時</p> <p>第15回 生理学的演習のまとめ (レポート返却)</p> <p>※日程や演習の順序が変更となることがある。また、解剖見学については、見学受入先となる大学医学部の都合により実施できない可能性もある。その際は解剖見学以外の方法で解剖学的演習を行う。</p>	